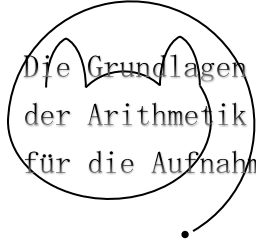


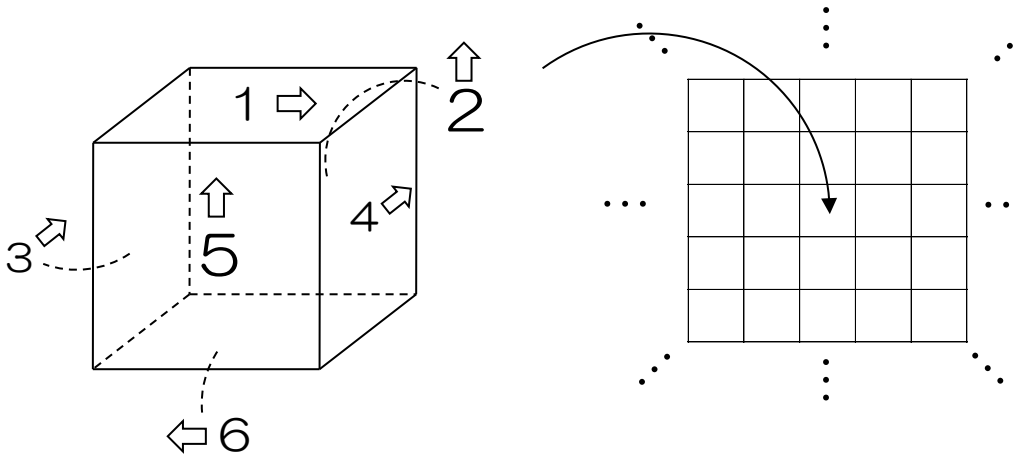
受験算数の基礎



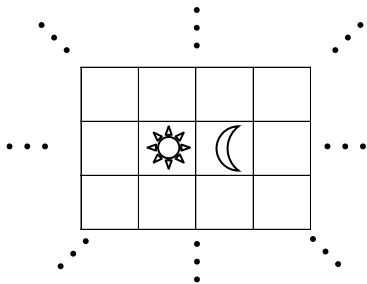
試行力問題～子どもから大人まで～

やじるし
矢印のついたさいころ・2

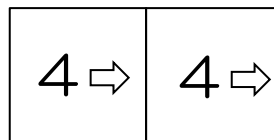
下の図のように、数字と矢印が書かれたさいころを、さいころの面と同じ大きさのマス（ほうがん）をならべた方眼にぴったりと置きます。そして、上の面に書かれた矢印のほうこうに、数字の回数だけさいころをころを転がすということを行います。



下の図の太陽のマスにさいころを置いて転がすことを何度かくり返ししたところ、月のマスでとまりました。太陽と月のマスで、さいころの上の面はどのように見えましたか。（れい）にならって、かんがえられる数字と矢印をすべて2枚目の解答らんにかきなさい。数字の向きは気にしなくてかまいませんが、矢印は正しい向きで書きなさい。必要であれば、3枚目の方眼紙を使いなさい。



（れい）



受験算数の基礎

Die Grundlagen
der Arithmetik
für die Aufnahmeprüfung

試行力問題～子どもから大人まで～

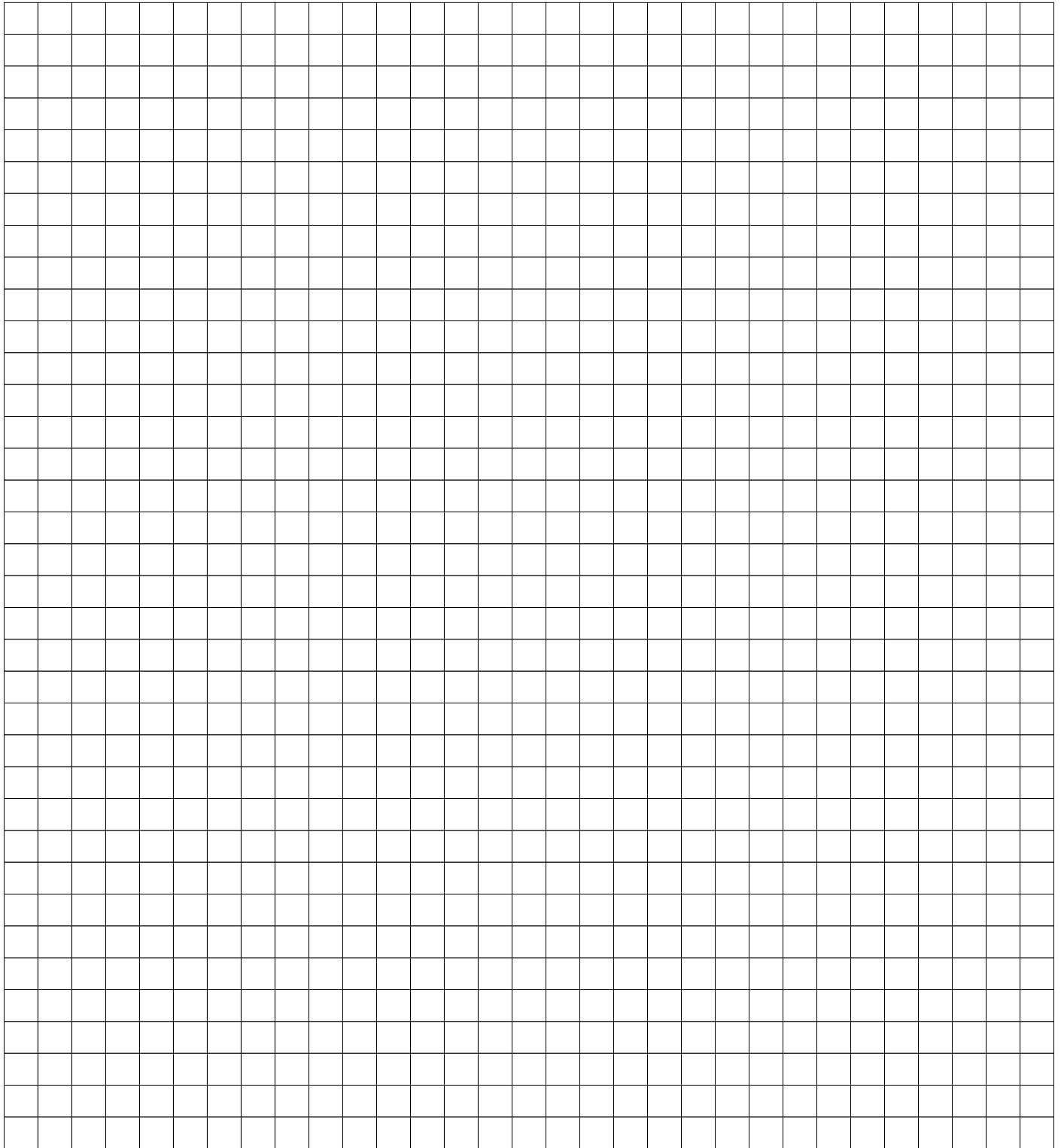
(解答らん)

(解答らんはすべて使うとはかぎりません)

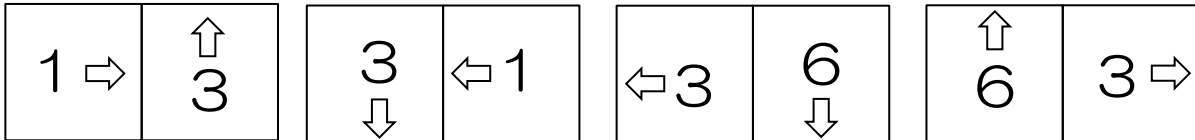
受験算数の基礎

Die Grundlagen
der Arithmetik
für die Aufnahmeprüfung

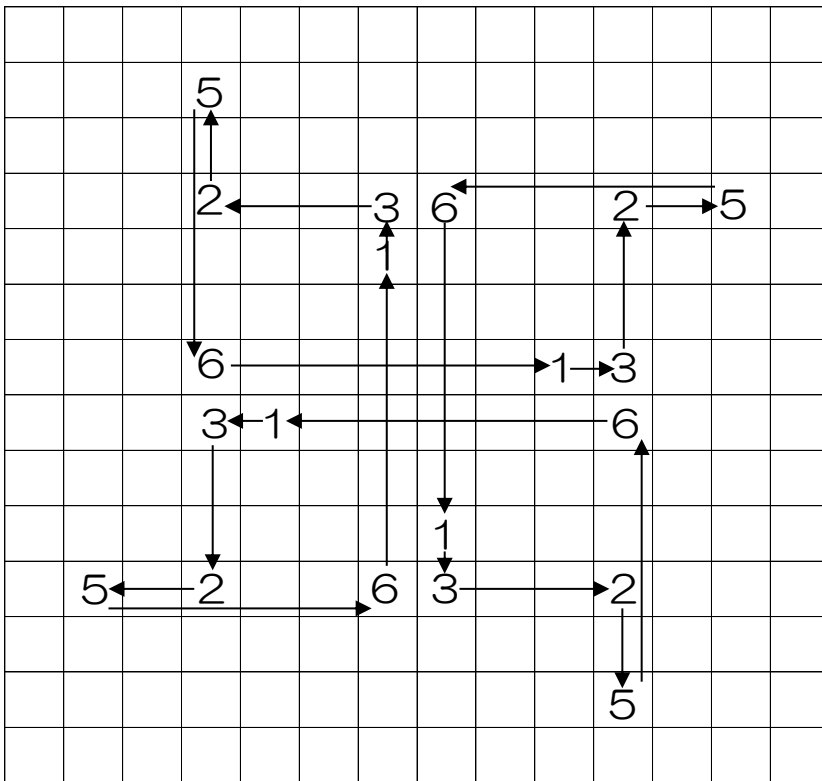
試行力問題～子どもから大人まで～



矢印のついたさいころ・2



4の面を上にした場合を除き，方眼上のさいころの動きは，下の図をくり返します。



上の図では，4以外のすべての面について上下左右の4つの方向を矢印が向いている場合が書かれているので，90度ずつ回転させてももとの図に重なりますから，回転させた場合を考える必要はありません。

よって，上の解答の4通りになります。